

論議された主な政策課題調書(令和5年9月議会)

(教育委員会)

所属課	質問議員	区分	項目	内容	今後の対応(方針)
教・総務課	黒沢清一議員	本会議	学校の老朽化対策について	小中学校の校舎・体育館などの老朽化に伴い、様々な要望が出されている。学校現場から出されている要望の現状の実態と、改修の進捗状況について伺う。	学校施設の改修・修繕については、毎年度、一定の予算枠を確保し、改修につなげている。施設の抜本的な改修は、長寿命化改修工事・予防保全改修工事において対応していく。
教・総務課	黒沢清一議員	本会議	学校トイレの洋式化について	子どもたちや市民から学校トイレの改修の要望が寄せられる。校舎の改修待ちにせず、目標を持って早期の整備を求めるが、見解を伺う。	基本的な方針は、6月議会での答弁のとおり、国の補助金を活用した長寿命化改修工事・予防保全改修工事に合わせ実施していく。単体でのトイレ改修も、学校からの改修要望を聴く中で、個別に検討する。温水洗浄機能便座は、多目的トイレ設置に合わせて進める。
教・総務課	黒沢清一議員	本会議	小・中学校特別教室へのエアコン設置について	特別教室へのエアコンの設置が早急に求められるが、見解を伺う。	学校のエアコンの設置状況は、普通教室、特別支援教室、音楽室、図書室、保健室には、令和2年度までに概ね整備が完了している。次のステップとして、理科室を中心とした特別教室へのエアコン整備を進めている。今後は、学校施設の長寿命化改修工事の中で、整備を進めていく予定であるが、国庫補助金を活用したエアコン設置も検討を進める。
教・総務課	黒沢清一議員	本会議	避難所としての小・中学校の体育館のトイレの洋式化やエアコンの整備について	小・中学校の体育館は、避難所としての役割も果たしており、災害時にはトイレの問題は切実であり、早急な整備が必要と考えるが見解を伺う。体育館のエアコン設置も避難所としての整備で必要と考えるが、見解を伺う。	学校体育館のトイレ整備は、校舎のトイレの整備と同様、学校施設の長寿命化改修工事の中で、トイレ洋式化等の改修を実施する計画としている。学校体育館への冷房設備の設置は、既存の屋根、壁、窓、床の断熱性が低いため、既存施設のままでは冷房の効果が少ないことなど課題が多く、大規模改修が必要である。他の自治体の体育館への冷房設備の導入事例、新しい技術や機器などの情報の収集、体育館の断熱対策などについて、調査・研究をしていく。
教・総務課	小林秀子議員	本会議	教育環境の整備について、猛暑対策として体育館にエアコンを	普通教室へのエアコン設置は済んでいるが、学校全体の断熱性を高めることも必要と考える。国では、避難所となる体育館への冷房設備の設置や断熱化について、補助金などを充実させている。体育館を含めた猛暑対策について伺う。	学校全体の断熱性向上の方策は、学校施設の長寿命化改修の大規模改修の際に、屋根、壁、床の断熱性の向上や、窓ガラスをペアガラスに交換することで、建物全体の冷暖房効率を向上させることにより、省エネ化を図っていく。学校体育館への冷房設備の設置は、既存の屋根、壁、窓、床の断熱性が低いため、既存施設のままでは冷房の効果が少ないことなど課題が多く、大規模改修が必要である。他の自治体の体育館への冷房設備の導入事例、新しい技術や機器などの情報の収集、体育館の断熱対策や、財源としての起債や国の補助金の活用を含め、調査・研究をしていく。
教・総務課	佐藤久美子議員	委員会	学校体育館のトイレ整備について	学校体育館のトイレ整備について、議会において危機管理防災官が緊急防災・減災対策事業債の活用を含め、施設所管課と連携し調査研究するとの答弁があった。教育委員会としての考えを伺う。	基本的には、長寿命化改修の際に整備する方針であるが、有利な財源の活用を含め調査研究していく。
教・総務課	市川和彦議員	委員会	大豆島小学校の教育環境整備について	大豆島小学校の改築に関し、全体的なスケジュールを示してほしいとの地元の声がある。道路の問題、昇降口の位置などの諸課題はあるが、地元と協議し、早期に進めてほしい。	客観的な数字により、長寿命化改修ではなく改築が適切である、との判断ができたところであり、現時点ではスケジュールはお示しできる状態ではない。財源の事も含め庁内で調整し、改築に向けて進めていきたい。
教・総務課	竹内茂議員	委員会	学校トイレの改修について	学校トイレの改修は、長寿命化改修を待たず、前倒しして進めてほしい。また、洋式化だけでなく、温水洗浄便座の設置も要望する。市長にも学校の現状・現場を見てほしい。	市長も学校を訪問する機会を捉え、現地を見ていると承知している。

論議された主な政策課題調書(令和5年9月議会)

(教育委員会)

所属課	質問議員	区分	項目	内容	今後の対応(方針)
学校教育課	塩入学議員	本会議	SaSaLANDについて	子どもの思いに寄り添い、教育委員会、先生、保護者、地域が大胆大発想の取り組みが出来るか、再度不登校としない対応策等を伺う。	川崎市にある子ども夢パークのようなことができないかという庁内議論を経て、来年度からSaSaLANDをオープンする。 第二の学校にはならないように教育委員会には伝えてある。全国的に不登校児童生徒が増えており、学校のようにはしたくないと思っている。 中心市街地から距離はあるものの、自然豊かであるし、七二会の皆さんも期待をしているので、子どもたちを温かく見守りながら、自然を活かした成長を見守れる施設にしていきたい。 中心市街地から距離があるため、保護者の負担や送迎に関しても相談に応じながら、子どもたちに寄り添い、笑顔あふれる施設にしていきたい。
学校教育課	黒沢清一議員	本会議	小中学校の更衣室の整備について	長野市内の小・中学校男女同室の着替えの実態について伺う。 子どもたちが性被害に遭わないためにも、教職員の研修や、子どもたちもいやなことはいやだと、声を上げることの大切さを学習することが重要だと考えるが、今後の計画について伺う。	一部の中学校で、制服の下に運動着を着用していることから、制服の着脱のみ男女同じ教室で行っている実態がある。そのことに、嫌な思いをしている生徒が、声を上げられずにいることを大事に受け止め、男女別室での更衣について対応するよう全中学校へ通知した。 子どもたちが声を上げることの大切さの学習については、市教育センターの講座や教職員の経年研修で研修する機会を設けている。また、県教育委員会主催の研修会への参加を積極的に周知するなど、引き続き、教職員研修の充実を力を入れていく。 子どもたちのSOSの出し方に関する教育は、外部の専門家を招くなどし、全小・中学校で実施している。夏休み明けは、悩みを抱える子どもが増加する傾向にあるため、相談フォームや、子ども総合支援センター「あのえっと」などの相談窓口を再周知し、声を上げやすい環境づくりにも努めていく。 また、それら計画については、教育センターで丁寧に振り返りを行う。
学校教育課	小泉一真議員	本会議	市内中学校における男女生徒同室着替えについて	報道時点で男女同室着替えが行われていた中学校は何校あるか。なぜ同室着替えが行われていたのか。同室着替えが行われていた学校において、生徒の心身に負担はなかったのか。	中学校24校のうち、主に更衣を行う体育授業で10校、清掃で21校が男女同室で更衣を行っていた。上着の着脱のみを行うため、生徒や職員に着替えるという意識が薄かったこと、更衣室が少なかったこと、更衣室までの移動時間や動線、日課などの事情により、男女同室更衣が続いてきたものと考えられる 生徒の心身の負担について、各学校の相談窓口や教育相談、生活アンケート、保健室への相談フォームなどへの相談に、現時点で不快感を訴える声は寄せられていないが、これまでに嫌な思いを感じていたと訴える生徒がいた場合には、その生徒に寄り添い、丁寧に対応する。
学校教育課	小林史子議員	本会議	多文化共生推進について	日本語教育が必要な児童生徒への教育支援について具体的な取り組みを伺う。	本市における日本語指導が必要な児童生徒は、令和5年5月1日現在68人おり、そのうち43人は、小学校3校、中学校4校に設置された日本語指導教室に在籍している。 日本語指導教室では、日本語の習得レベルに応じて個別に特別な教育課程を編成し、学校生活を通して生活言語の習得や、授業での学習言語の習得等ができるよう、児童生徒の支援を行っている。 日本語指導教室のない学校に在籍している25人の児童生徒については、個々の言語に応じた母語支援者19名が在籍校を巡回訪問して、授業中における通訳を含めた学習支援や、生活言語習得への支援を行っている。また、保護者に対しても、日本語習熟度に合わせて、母語支援者が個別懇談会に同席するなど、学校との調整役を担い、支援を行っている。
学校教育課	小林秀子議員	本会議	教育環境の整備について	①子どもたちにとって望ましい教育環境について 児童生徒数の将来推計により、今後の各学校の学級数等の規模が把握できる中、地域の方や保護者に、学校施設の長寿命化等の改修等と併せた、ハード、ソフトの両面から子どもたちにとって望ましい将来の学校像の青写真を示せないものか。 この学校像を描くために、地域や保護者との検討に入る時期をわかりやすい形で示すことが必要ではないかと考えるが、これまでの取り組みの成果と課題、教育委員会の考えを伺う。	これまで中山間地域のように1地区1小学校1中学校のような通学区については、話し合いを積み重ねる中で、子どもたちにとってどのような学びの場が望ましいのか青写真を示してきた。市街地は、学校群における連携を見据えた将来像を描いていくことも大事であることから、引き続き、地域の方や保護者と共に話し合いを進めていく。 検討に入る時期を示すことについては、少子化が進み、将来的に複式学級編制規模や、学年が単級規模になっていくことが見込まれる場合には、検討する必要性が考えられるが、市街地にある学校の場合は、中学校・小学校の学校群として一体的に考えていくことも必要であるため、一概に検討の時期を示すことは難しい。 少子化がさらに進展していく中で、地域の実情に応じた、望ましい教育環境の在り方について議論を加速していくことが求められているので、教育委員会としては、未来を担う子どもたちのことを第一に考え、スピード感を持ちながら、丁寧に進めていく。

論議された主な政策課題調書(令和5年9月議会)

(教育委員会)

所属課	質問議員	区分	項 目	内 容	今後の対応(方針)
				②不審者対策について 子どもたちを守るための不審者対策の課題について、市として子どもたちを見守る体制をどう構築するか、防犯カメラの設置を含め考えを伺う。	全ての市立小・中学校で、管理職や教職員を中心に校門や昇降口付近で子どもの見守りが行われているが、今後、教職員の働き方改革の視点も踏まえながら、長野市PTA連合会や警察と連携して、子どもたちの交通安全を見守る学校単位の支援ボランティア活動が、市全体の活動となるように、体制づくりを検討していく。 学校への不審者侵入防止対策としての防犯カメラ設置については、国の支援措置が令和7年度までとされていることから、現在、検討している。今後も、引き続き、ソフト面、ハード面において、子どもたちを守るための不審者対策に努めていく。
学校教育課	竹内茂議員	委員会	長野市と小川村との間における教育事務の委託について	長野市と小川村との間における教育事務の委託について、県内で市町村をまたいで通学している事例は何件あるのか。また課題はあるのか。	すべて把握できているわけではないが、県内では、平谷村から阿智村、王滝村から木曾町に教育事務委託により通学している事例あり。課題は聞いていない。
保健給食課	北澤哲也議員	本会議	物価高騰による学校給食費について	現状と今後の対応を伺う。	不足額については、保護者に負担を求めることなく、公費で負担することとし、必要な経費を計上した補正予算案を本定例会に提出。引き続き、物価の動向等を注視しつつ、安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食の提供に努める。
保健給食課	黒沢清一議員	本会議	学校給食の無償化について	無償化を進めることを要望。無償化が困難な場合、減免措置を進めることが必要ではないか、見解を伺う。	継続的に大きな財源が必要となることから、他の支援策とのバランスや国の動向を注視しながら慎重に研究したい。
保健給食課	佐藤久美子議員	委員会	物価高騰に伴う給食食材費の公費負担について	臨時交付金の充当方法と来年度の事業継続について伺う。	臨時交付金の充当については、財政当局の判断である。来年度も臨時交付金が活用できるのかは承知していない。公費負担の継続については、財源確保を含めて、これから検討していく必要がある。
文化財課	塩入学議員	委員会	旧作新学校本館保存整備事業 補正予算(債務負担行為変更)について	旧作新学校本館保存整備後は、記念館として保存するだけでなく、子どもたちの交流の場、居場所など、活用を考えてほしい。	下氷鉋小学校の敷地にあり、主には学校で利用していくことにはなるが、地元からも整備要望や寄付を受けているので、地元と学校で検討しながら、地域の学習の場として活用していただくことを考えている。
南部図書館	塩入学議員	委員会	南部図書館耐震補強外改修工事について	今の館内は広くない。今回の工事で広がることはあるのか。	今回の工事は、耐震壁の設置や老朽した箇所改修のため、閲覧室等が広がることはない。改修後は、少しでも利用しやすいよう書架の位置等を工夫していきたい。
南部図書館	塩入学議員	委員会	南部図書館耐震補強外改修工事について	南部図書館の改築が見送られて残念。今の図書館は狭くてゆっくりしてられない、そのような意見があることを頭において工夫してほしい【要望】	

論議された主な政策課題調書(令和5年9月議会)

(教育委員会)

所属課	質問議員	区分	項目	内容	今後の対応(方針)
南部図書館	竹内茂議員	委員会	南部図書館耐震補強外改修工事について	通常、工事で耐震壁を設置すると、その分面積が減るが影響はないのか。	耐震壁を設置するのは、事務室部分と、閲覧室と通路の間の2か所である。通路部分が狭くなるが、書架等の配置を工夫して対応する。
南部図書館	佐藤久美子議員	委員会	南部図書館耐震補強外改修工事について	今回の工事で5か月間休館するということだが、利用者が多いところであるので、利用者が減らないよう丁寧な対応を行っていただきたい。	工事期間中は、予約本の貸出・返却の臨時窓口を、篠ノ井交流センター2階に開設し対応する。また、移動図書館及び市民文庫の業務については、引越し作業がある11月と3月を除き、休館期間中も続けるのでご理解いただきたい。